入院診療計画書

患者氏名　　様　　（　頚椎症性脊髄症　クリニカルパス　）

平成　　年　　月　　日
病棟(病室)
主治医
主治医以外の担当者

病　名	症　状	
頚椎症性脊髄症	しびれ・痛み・感覚の鈍さ	画像検査・手術を予定します

	入院～	手術前日	手術当日	術後1～2日目	術後3～6日目	術後7日目	術後8日目	術後2週～退院
内服・注射・処置	必要時他科受診します 床屋にて手術部位の散髪をします 手術のため、太ももの毛を剃ります 内服していた薬は継続してください 抗凝固剤は中止する場合があります ＊中止薬は後日お知らせします	うがいをして喉をきれいにしましょう 夜間眠れないときは看護師に申し出てください 薬を準備します	起床後血圧測定をします 午後の手術の方は午前中から点滴をします 薬は飲まないでください 医師の指示がある場合はしたがってください 酸素吸入をします ＊指示があるまでマスクは外さないでください 創に管が入ってきます 翌日まで持続点滴をします 朝・夕2回抗生剤の点滴があります 痛みが強い場合は座薬・注射などの痛みどめを使います	創の処置をします 前日より続けて点滴を行います ＊食事量・状態をみて終了します 内服薬は今まで通り服用して下さい 薬を飲んでいなかった方で、痛み止めが欲しい時は申し出て下さい	創の管を抜きます 医師の指示により中止薬を再開しま	創の消毒 抜鉤をします	創のチェックをし、ｶﾞｰｾﾞ交換終了	
検査	入院時採血(空腹時) 胸部レントゲン 肺機能検査・心電図 必要に応じて行います (翌日になる場合があります) CT・MRIを撮ることもあります			採血・採尿をします		上肢の運動機能をチェックします (7・18日目) 採血をします(9日目)		レントゲン・CTを撮ります
安静・運動(リハビリ)	制限は特にありません 外泊・外出希望時は看護師にお知らせ下さい 頚椎カラーをつけて日常生活を送る練習をしましょう		両足に血栓予防ストッキングを履きます カラーを装着しベッド上安静です 両足に血栓予防のポンプがつきます	自分で横向きになることができます。足をおろし腰かけることができます リハビリが始まります。術後2日目から歩行器で歩く練習が始めます 頚椎カラーを装着して過ごしましょう 抜鉤するまでは低い枕を使用します				
食事	普通食 ＊内科的に制限が必要な場合は後日変更になります	麻酔科医から絶飲食時間の指示があります	絶飲食	朝から食事開始 (全粥)	希望により普通食に変更できます			
栄養	特別な栄養管理の必要性（有 ・ 無）							
清潔	シャワー可 ＊病室に掲示してある日時に従ってシャワー室を利用してください	ｼｬﾜｰ浴をして下さいできない方は体を拭きます	手術着に着替えます	抜鉤までは朝夕洗面タオルを渡します 体を毎日拭いて着替えます		シャワーができます ＊心配な方はシャワー用カラーがあります		
排泄			朝に浣腸をします ＊手術開始時間により前日に浣腸します 尿管が入ってきます 排便はベッド上で便器を使用します	尿の管を抜きます				
到達目標	＊痛みを伝えることができ、またそれが軽減したことを伝えられる ＊治療について理解でき、安心して検査・手術に臨むことができる ＊転倒転落せずに過ごすことができる(退院まで)		＊術後の状態が安定している ＊手術による痛みが和らぐ	＊手術びよる創や肩の痛みが和らぐ ＊日常生活が自分で出来るようになる				＊退院に備え心身の準備ができる
説明・指導	看護師から入院生活について説明があります 入院案内もご覧ください 禁煙しましょう 医師から検査について説明があります 手術がきまりましたら医師から説明があります 看護師が手術前後の事について説明します 手術に必要な物品を確認します	麻酔科医・手術担当看護師が訪室します 手術日が月曜の場合金曜日になります	手術の結果について医師からご家族に説明があります	術後のスケジュールについて看護師から説明があります				パンフレットを使用し退院後の生活について説明があります 医師からレントゲン・CTの結果の説明があります

注1)病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わり得るものです。
注2)入院期間については、現時点で予想されるものです。

上記内容とその説明に十分理解して頂けましたら、ご署名をお願いします。　　患者様サイン(　　)